

2024年
8月1日発行
206号

江差
えさし

議会だより



色々な遊びたのしかったよ

☆シニアカレッジ～昔の遊び体験～ 児童園児との交流

6月18日

第2回定例会開催

事務調査

社会文教常任委員会

「親子で楽しめる健康的な空間
づくりに関する事務調査報告」

一般質問

- ・飯田 隆一 議員
人口戦略会議提言をどう分析するか
- ・増永 一彦 議員
北の江の島事業中止の考えは
- ・出崎 太郎 議員
観光客誘致のための通年戦略は
- ・塚本 眞 議員
学習用端末に関する個人情報保護は
- ・小梅 洋子 議員
災害派遣職員体験報告会の開催を
- ・田畑 豊利 議員
出処進退決断を
- ・小野寺 眞 議員
障がい者が理解出来る説明や支援を
- ・室井 正行 議員
道路改良と合わせ特徴的な事業要請を

ゼロカーボン推進業務・
江差マース事業等

・計4,294万7千円の補正予算可決

6月定例会 こんなことが決まりました！

ゼロカーボン推進業務・江差マース事業等 計4,294万7千円を補正

補正予算

一般事業

◇行政情報化・電子自治体推進事業

261万9千円（全額国庫支出金）

国と地方公共団体の各業務システム間で「特定個人情報」の連携を仲介するために必要な「中間サーバー」を整備するもの。

◇人事給与システム改修（会計年度任用職員勤勉手当）

57万2千円（全額一般財源）

地方自治法の改正により、パートタイムの会計年度任用職員に対し勤勉手当支給が可能となり、現在の給与システムを改修するもの。

◇伝統文化のまちづくり共創型空港アクセス改善事業

106万円（全額一般財源）

江差・厚沢部・上ノ国の3町と、檜山振興局及び北海道エアポート株式会社を共創パートナーとして「函館空港アクセス改善プラットフォーム」を構成し、負担金のほか調査費等を措置。

◇個人住民税定額減税を補足する給付金に係る総合行政システム改修委託業務

88万7千円（全額国庫支出金）

所得税及び個人住民税において定額減税が実施されることに伴うシステム改修。

◇令和6年度低所得者世帯価格高騰支援給付金事業

97万3千円（全額国庫支出金）

デフレ完全脱却の総合経済対策として、住民税非課税世帯等に対し給付を実施するにあたり、対象者抽出及び振込データを作成するためのシステムを改修するもの。

◇総合行政システム改修（児童手当の異次元の少子化対策）

120万2千円（全額国庫支出金）

「こども未来戦略」に基づく、令和6年度の児童手当の抜本的拡充を、本年12月支給分から対応するためシステムを改修するもの。

◇ゼロカーボン推進業務

547万4千円（全額一般財源）

江差町再生可能エネルギー検討協議会の設置・運営経費及び、再エネゾーニングマップを反映する江差町地球温暖化対策実行計画の更新等に係る業務委託費を措置するもの。

◇保育所広域入所 139万4千円（全額一般財源）

町外保育所へ広域入所させるために支払う委託料を措置するもの。

◇経営所得安定対策等推進事業

82万2千円（全額道支出金）

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付し、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るもの。

◇海洋体験充実事業

100万円（全額その他特定財源）

みらい機構への補助事業として、マリンフェスタ等の海洋体験イベントを充実するための備品等を整備するもの。

◇小学校図書及び中学校図書整備

10万円（全額その他特定財源）

町への寄附意向に基づき、学校図書を充実させるため、町立小・中学校5校の図書購入費について各校2万円ずつ増額するもの。

◇芸術鑑賞事業「音楽のゆうえんち」

87万6千円（全額一般財源）

日本のクラシック界を支える至宝「株式会社ハナミズキ音楽事務所」による、聞いて、踊って、みんなで楽しめる、幼児から入場できる親子で楽しむコンサートを実施するもの。

◇江差町地域公共交通活性化協議会負担金事業

1,516万9千円（全額一般財源）

昨年度に策定した江差町地域公共交通計画の推進を図る江差町地域公共交通活性化協議会に対する運営経費を増額するもの

◇江差マース事業

788万9千円（全額その他特定財源）

過去3年間の実証実験を踏まえ、今年8月1日より本格運行を開始する「江差マース」に係る経費。

◇コミュニティプラザえさし（愛称：エコー）自動火災報知設備整備

291万円（全額一般財源）

エコーの消防法上の用途変更等により、消防用設備見直しが必要となり、自動火災報知設備の追加及び保守点検費用の不足額を補うもの。

6月定例会 こんなことが決まりました！

その他

◎選挙

◇江差町選挙管理委員会委員の選挙

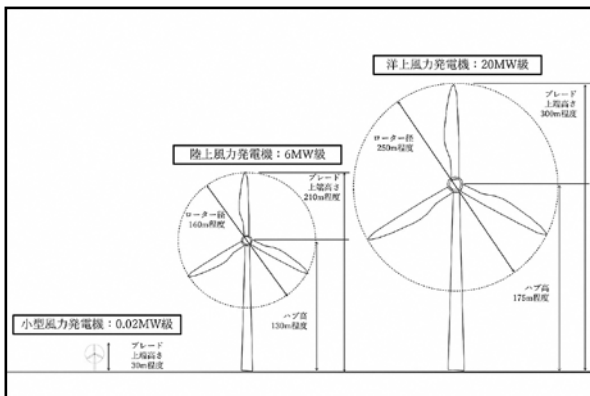
選挙で当選された委員

- ・齊藤 繁憲 氏 ・横野 晃一 氏
- ・橋野 一巳 氏 ・辻 佳哉 氏

◇江差町選挙管理委員会委員補充員の選挙

選挙で当選された委員補充員

- ・中島 幸恵 氏 ・塚本 諭 氏
- ・堀田 靖一 氏 ・石塚 浩二 氏



江差町再生可能ゾーニングマップ報告書より
「風力発電機の規模」

◎条例改正

◇江差町再生可能エネルギー事業の推進と地域との共生に関する条例の制定

地球温暖化対策に向けて、町・町民及び地域事業者が一体となり、持続可能な脱炭素化社会の実現に向けたまちづくりに寄与するための条例制定。

◇江差町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉施設の設置及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令に伴う条例改正。

◇江差町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税率の改正に伴うもの。

◎報告

◇令和5年度一般会計繰越明許費繰越計算書

令和6年度に繰越して使用する予算について報告。北の江の島構想推進他16事業。3億9,915万2千円を繰越。

◎その他

◇北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更

◎人事

◇農業委員会委員の任命（11名）

意見書を提出

6月定例会では9件の意見書を提出し、全て可決、関係行政機関へ送付しました。

《可決》

- ◇食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書の提出について
- ◇日本政府に核兵器禁止条約の参加・署名・批准を求める意見書の提出について
- ◇ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について
- ◇地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について
- ◇道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出について
- ◇義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の提出について
- ◇令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出について
- ◇生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書の提出について
- ◇訪問介護報酬引き下げの撤回を求める意見書の提出について

第2回定例会 行政報告



次のとおり、町長が行政報告しました。

1 令和5年度江差町各会計決算見込みについて

歳入総額 68億5,308万9千円

歳出総額 66億4,542万2千円

歳入歳出差引 2億 766万7千円

繰越明許費繰越しを差し引いた実質収支は1億8,871万6千円で、1億円を財政調整基金に積立、残額は繰越金。

2 令和5年度江差町水道事業会計決算概要について

営業収益 2億5,218万6千円

営業費用 2億7,507万7千円

営業外収益 2億1,151万4千円

営業外費用 3,562万2千円

当年度純利益 1億5,446万円

3 寄附採納について

◇有限会社オオフル建築設計事務所

代表取締役 大古 正平 様

現金10万円（各小中学校の図書購入費用として）

◇シン・エナジー株式会社

代表取締役 乾 正博 様

企業版ふるさと納税300万円

（昨年度・一昨年度も同額のご寄附）

議会ホームページをご覧ください

定例会の日程、審議内容の他、平成24年度以降の会議録を閲覧することができます。

議会だよりへの掲載は、紙面の都合上、一部省略しております。詳しくはHPにてご確認願います。

（議会HPアドレス）

<https://www.hokkaido-esashi.jp/gikai/gikai.html>



一般質問 8議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の①、②はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

問 人口戦略会議提言をどう分析するか 答 有識者で構成する検討委員会で議論

昨年12月公表の国立

社会保障・人口問題研究所の推計を基に、今年4月「人口戦略会議」では、江差町を含め、今後30年間で道内117の市町村において消滅の可能性がある分析を発表した。町としてこの提言をどう分析し、対策を講じるか。

2点目、雇用環境の創出や、民間事業者と連携し、良質な雇用を地元で作ることが望まれるが如何か。

3点目、令和4年度第4回定例会で質問した。当時、町の人口が7千人を割り、1年半経過をしたが、どんな

対策が議論されたか。

4点目、今回の発表は、若者や子育て世帯の将来に対する不安が非常に大きく、実効性のある将来展望が望まれるが如何か。

町長 町は、「消滅可能性自治体」と位置付けられ、強い危機感を感じている。

これまで創生総合戦略に基づき、人口減少と地方創生に特化した取り組みを進めてきたが、人口減少に歯止めがかからない。「人口戦略会議」の提言を踏まえ、各分野の有識・学識者で構成する策定委員会での議論をいただき、第3期総合戦略の策定を進めてまいりたい。

2点目、若者を中心に労働力が都市部へ流出し、また、建設業、福祉等分野では雇用が充足されず、人手不足が深刻になる「雇用の

ミスマッチ」状態が続いている。町内の関係機関や民間事業者からもご意見を伺い、第3期総合戦略の策定を進めていく。

3点目、住みやすい町づくりを目指すことが、結果的に定住対策に結びつくという考えで施策を進めてきており、特に、子育て世代に主眼を置いた施策や支援策の充実を図ってきたところ。

4点目、結婚出産を含め、若者世代が将来に希望を持ち、その希望が実現できる社会づくりを進めることが重要であると考え、総合戦略の策定にも取り組んでまいりたい。

町長 江差町長も、町民に対してイメージ、戦略を示すべきだと考える。人口戦略会議の提言が全て正しいとは思っておらず、大事なのは、安定した雇用先、労働環境があるか。

地元に就職したくても選択肢がないという実態が、今回の東京一極集中、札幌転出が増えていく現状であり、

第3期総合戦略でポイントの部分を、議論して対策を練るべきだと思いが如何か。

町長 人口減少の問題としては、サービスや生活が維持出来なくなる、働く世代が少なくなる、高齢化率が高くなり、社会保障などで財政支出が国大きくなっていく事。

一方、人口減少の中でも生産性をあげて暮らしを良くしていく、そういう社会も実現出来るのではないかと考えている。地方自治体で人口を奪い合うのではなく、希望を持つ人達が実現出来る社会を、国全体として作っていくことが大事ではないかと思う。

一人一人町民の皆さんが暮らし続けられる生活基盤をしっかりと作る、そして子どもを産みたい、育てたい。そういう方たちをしっかりとサポートしていくこと。そして労働環境を良くして所得を上げていく生産性を上げていく。そのことを向

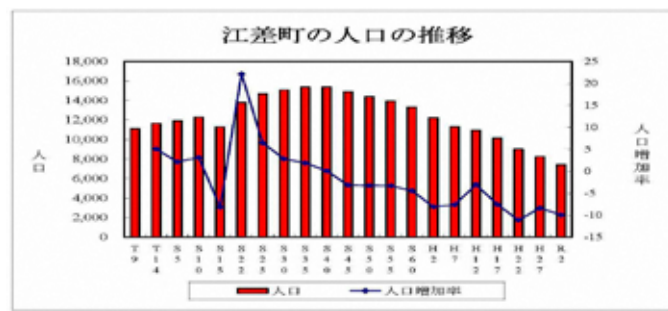
き合せて、着実に人口減少対策、少子高齢化、地域活性化を全力で取り組んでまいりたい。

町長はリーダーシップをとって、町村会として国の方に抗議・提言して頂きたい。そういう行動こそが、町民の将来に対する希望、安心感を与えるものだと思う。

町長 江差町長として、民間事業者と連携していくことは、当然大事だと思っている。この地域の強みとは何かと考えた時、農業、漁業を中心とする一次産業。また、洋上風力を含めた風力発電が盛んな地域になってくると思う。エネルギー産業を、この地域の基盤に据えていく。三次産業、サービス産業、医療や福祉そういった産

業にも波及をさせ、効果をもたらすことが大事と思っている。この機能は都市部では絶対出来ない事であり、この地域の強みの産業を育成しながら、他の産業に繋げていく。

そして、住みやすい、子育てしやすい江差町を作ってまいりたい。そのことに対して全力で、民間企業とも連携しながら、国や道に対しても町としてメッセージを発信していきたいと思っている。



無会派

増永 一彦

議員

問 エコー建設の借金は7割が減ったのか
答 7割が交付税措置で借入金金は減らない

3月定例会一般質問
で江光ビル跡地の建設
施設の借金について借
金が7割減ったかのよ
うに聞こえるが。

町長 元利償還金額の
7割が普通交付税措置
され、借入金の額が7
割減るわけではない。
再 町民は「措置され
る」という言葉に惑わ
され、借金がなくなっ

たような錯覚となる。

問題は、借金は増え、
財政比率が悪化するこ
とであるが如何か。

まちづくり推進課長

普通交付税で算入され
る額に、計算上の分母
分子から控除され、影
響比率から除かれる。
財政課長 中期財政運
営方針で健全化比率に
十分配慮し財政運営に

問 公用車リース説明不足では
答 質問趣旨に対し簡潔に答弁

公用車リースについ
て、個人として住民監
査請求をしたが却下と
なり、監査委員の理由
を読むと、車両の配置
の見直し等々、なぜ町

側より説明がない事項
があったのか何う。
町長 定例会では、質
問の趣旨に沿って、答
弁申し上げた。決算資
料では、全ての公用車
の配置状況と異動履歴、
共用車両の11台も明確
に記載している。

再 令和4年6月、共
有車両が、かもめ保育
園へ専用車両として
移った。令和3年度に
財政課が管理すると言
い、4か月で、専用車

努めると掲げている。
再 中期財政方針は
約2年が経過している。
新たな借金もあるが、
数値の見直しは。

問 旧爾志郡役所歩道に手すりの設置を
答 現状要望は無いが安全対策を協議

旧爾志郡役所横の急
斜面の歩道は、江差
小・中学校の通学路と
なっている。特に冬期
間、雪道になり歩道は
滑ると思うが如何か。

教育長 早朝のパト
ロールより降雪や路面
状況にに応じ、適宜歩道
両になっっているが。

財政課長 保育所車両
については、当初から
配置転換になることを
想定し、資料にも記載
されている。

再 意見書に、改め
て公用車配置計画を再
構築すべきと監査委員
が述べているが、どう
お考えか。

副町長 公用車リース
契約は計画通り進める
が、増永議員、監査委
員からも公用車に関し
ご指摘を受け、町とし
ても尊重し捉える。

副町長 以前の財政健
全化団体となるような
そういう比率にはしな
いので、十分留意し行
政運営していく。

の除雪や融雪剤散布等
対策が取られている。

再 手すりの設置と、
滑り止めのついた歩道
の設置は如何か。

建設水道課長 学校、
住民から手すりの設置
要望はないが、学校と
の合同点検などで、意
見交換等を行い、安全
対策の部分について協
議してまいりたい。

問 クリーニングシェルター設置の考えは
答 設置せず冷房施設開放を適宜行う

4月環境省より、熱
中症特別警戒アラート
の運用が始まった。町
は、クーリングシェル
ター設置についてどう
お考えなのか何う。

町長 施設利用制限等
の調整が必要となり、
現時点で指定を行う考
えはない。

なお、気象条件や施

問 北の江の島事業中止の考えは
答 事業中止の考えはない

北の江の島構想（た
だき台）から6年が経
ち、どう町民や関係団
体の意見を聞き入れた
か。町側主導で不十分
であれば、中止の考え
も持つべきでは。

町長 拠点施設は、今
後のまちづくりにとつ
て必要不可欠な施設で
あり、現時点で、事業
中止の考えはない。
再 ラピタス関係、資
材高騰の中で、この構
想が進んでいくことは
如何なものか。中止し
ないのであれば、改め
て、民意を問うため、



北の江の島拠点：かもめ島外観

となり、アラートが出
た場合、実施の事業を
中止することとなる。

再 長期予報では昨
年並みか暑い予報であ
り8月も警戒アラート
が出る確率はある。

暑さに困る人の為に
どうしたら出来るかの
お願いである。如何か。
町長 アラートに限ら
ず、きめ細やかに対応
したいというのが、町
の方針である。

無会派

出崎 徳さき

太郎

議員

問 観光客誘致のための通年戦略は

答 道の駅を拠点に周遊する仕組みを構築

町の観光行政について、「江差観光みらい機構」と関係機関の役割分担によれば、町役場が観光施策を立案・

むか何う。

町長 コロナ禍以降、これまで以上に個人型の通過型観光が多くなり、「第6次総合計画」

予算措置を講じ、町内各団体と連携して観光を推進するとしているが、各種イベントが計画実行されているものの、町全体の通年戦略が見えてこない。

不特定の観光客誘致のためには、旅行事業者等を通じてターゲットを意識し、物語性を理解してもらう戦略が必要と考える。

機能的な連携を構築するため、組織の在り方を含めてどう取り組むか何う。

町長 コロナ禍以降、これまで以上に個人型の通過型観光が多くなり、「第6次総合計画」

策定時と現状が少し変わってきている。

今後の観光戦略に向けては、函館市や道南圏の方々をターゲットに、北の江の島構想による道の駅を拠点としながら、街中を周遊する仕組みを構築し、第6次総合計画後期基本計画や第3期総合戦略などに反映し、通年戦略となる様に取り組む。



出崎 太郎議員

再 交通手段、ルート、滞在時間に基づく具体的なコース設定や戦略が必要と思う。団体客個人客への具体的な戦略をどこの部署がどう

取るか何う。

追分観光課長 個人客の移動は公共交通機関の他、私用車、レンタカーが多い状況であり、

団体客は、旅行会社の方への誘客として近隣自治体と連携し誘客を図ってきたところ。

現在の観光客の形態は、ネットを検索して旅行計画を立てる方が多いため、ホームページなどを含めて観光、体験情報、滞在時間に基づく周遊コースなどの旅前情報を充実させていく。その上で追分観光課が所管となり、町内の各種団体を巻き込んだ戦略が必要となり、江差観光みらい機構と連携し取り組む。



いにしえ街道MAP

問 開陽丸を海中で見る方法を議論したか

答 検討委員会では議論していない

「開陽丸遺跡・引揚遺物保存活用検討委員会」の初会合で、積み重なった泥や網を外し、船体を水中撮影してCGの立体映像を制作し、長期間保存のためにシートと砂による埋め戻しを行うとされている。

近年、遺跡は文化遺産として、いかに観光資源に活用出来るかに焦点が当てられている。現地の海中で実際に見せることが出来ないか検討・議論したかを伺う。

教育長 令和5年度から奈良文化財研究所の「日本における水中遺跡保護体制の整備充実に関する調査研究事業」に関するパイロット事業で、船体や引揚遺物の保存環境や劣化等を分析している。

今後の保存・活用の在り方や、遺跡・遺物の価値を高めるための具体的な検討を進めることを目的に、専門家や学識経験者で構成す

る検討委員会を設置し、5月に第1回の委員会を開催したが、経過や今後の取り組みについて協議したところであり、ご指摘の内容は議論していない。

観光資源としての活用は、まちづくり全体の課題として、町の関係部局や観光関係者等別な形で幅広く議論することが望ましいと考える。

再 検討委員会で学識経験者の知恵をもらいながら、現地にどうやって足を運んでもらえるか、是非観光資源として活用できる方法を探ってもらいたいと思うが如何か。

社会教育課長 検討委員会の方々も専門的な知識をお持ちであり、投げ掛けをしてご意見を頂きながら反映をしていきたいと考えている。

再 検討委員会が発足し、今更難しいが、日本遺産の検討などで

も如何に観光に繋げるかという議論になっているはず。江差で先進的な事例でもあり、全庁的に取り組むような委員会の設定の仕方があったのではないかと考えるが如何か。

教育長 検討委員会の役割は、文化庁の水中考古に関するパイロット事業を、文化財研究所が請負い、水中考古の保存・活用をすること。保存と活用という言葉が、ともすれば物を使つて様々な人を呼び込むこととなる。

価値を高める、磨きをかけて、発信するということだが文化財行政の中での保存、あるいは活用という言葉に括られている。

まずは今回国が委託した事業の成果をしっかりと出すことを、教育委員会で注力していくので、ご理解願う。

再 検討委員会が発足し、今更難しいが、日本遺産の検討などで

無会派

塚本 つかもと

眞 眞こゝろ
議員

問 生徒の体力向上に生活習慣の確立を

答 生活リズムチェックシートを実施

全国体力テストについて、今年道内では檜山の男女共小学5年生は、全国平均からも好成绩となっている。

中学は、道内で十勝が全国平均を上回っており、十勝では、児童生徒の食生活改善に力を入れていると伺っている。中学校で体力が伸び悩んでおり、体力向上に向け、基本的な生活習慣を確立するための対応が必要と考えるが如何か。

教育長

全国体力テストについて、道内は小学生は高めの結果であるが、中学生は全国平均を下回り、中学生の



塚本 眞議員

体力向上に向け、体育指導経験が豊富な教員を重点的に配置し、授業づくりを支援しているところ。

町教委では、年2回、

問 学習用端末に関する個人情報保護は

答 改正法の留意事項に基づき対応する

小中学校では、学習用端末が配布され、民間業者の学習用アプリにより生徒児童氏名やテスト結果などのデータが収集されている。

しかし、昨年4月施行の改正個人情報保護法で、自治体に義務づけられた利用目的の特定を明示していない事例が数多くあると伺っているが、江差町における対応を伺う。

教育長

改正法では、個人情報利用目的の特定と明示が自治体に義務付けられ、教育委員会も同様とされた。

これを受け、文部科

全児童生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を実施し、食事の回数や、家庭学習状況、睡眠時間等を把握、生活改善や学校の指導に活用している。

基本的な生活習慣は、児童生徒の健全育成には欠かせず、取り組みの充実を図る。



小中学校で使用される学習用端末

学省において留意事項が公表され、本年3月には利用目的の特定と明示が必須とされた改訂版が公表された。この留意事項に基づき、個人情報に関する利用目的を特定し、明示した案を既に作成した。関係機関と協議を経た上で、今学期中に周知を図っていく。

無会派

小梅 こうめ

洋子 ひろこ
議員

問 災害派遣職員体験報告会の開催を

答 開催する方向で検討

能登半島地震発生から半年になる。

町から被災地への支援の為、派遣した職員がいるが、現地に向向き、状況を見て人となれあい、支援活動をした方は感じ方が違うと思う。避難所での困り事、生活実態、行政側の対応など、実際に体験したことは何よりの教訓であり、是非、「エコー」を会場に報告会を開催しては如何か。

町長 被災した友好都市「珠洲市」を支援するため、1月20日まで単独、3月29日まで江差追分が主体となり、管内6町と檜



小梅 洋子議員

山振興局の職員で現地の支援活動を行った。派遣職員は、避難所巡回など多くの場面で市民や職員と接し、車

「江差追分に町民みんなで親しもう条例」は平成29年に施行されたが、あまり活かされていない様に感じる。

9月には第60回という節目の全国大会がある。条例を活かし江差町民の間で、少しずつ気運を高める必要があると考えるが如何か。

町長 本条例の趣旨として、町内一丸となり江差追分の普及、保存伝承及び発信に努めることを目的に制定した。町としては、出前講座の開催、江差追分授業を実施し、江差追分では、全国大会の開催の他、研修会やセミ

問 江差追分条例を活用し気運醸成を

答 町の宝を後世に継承を努める

今後、災害派遣職員の体験報告会を開催する方向で、検討してまいりたいと考える。

で寝食するなど、得難い日々を体験し帰町した。全派遣職員の連絡調整を町が担い、改めて後方支援体制の重要性を認識した。

今後、災害派遣職員の体験報告会を開催する方向で、検討してまいりたいと考える。

ナーなどを開催し、保存伝承と地域活性化に取り組んでいる。

今年の第60回記念大会を通じて、追分の気運醸成を図る事業を展開すると共に、決選会は、町民を入場無料とし、追分を堪能出来る内容を検討している。

町の宝・江差追分を後世に継承出来るよう、取り組んでいく。



昨年全国大会一般優勝者の唄

日本共産党

おのぞら まこと
小野寺 真 議員

問 介護予防等積極的な取り組みを

答 先進的地域の情報を参考に検討

町の介護保険料は道内最高の7,220円になった。国は財政負担を減らそうと市町村へ押し付けようとしている。国に対し介護保険制度の抜本的見直しを求めるべきである。

併せて、介護予防等により積極的な取り組みを求めている。いつまでも互助任せでは続かない。制度の中の介護予防関係で総合事業があり、自治体独自の創意工夫の余地があるが難しい課題もある。先行で取り組む七飯町を研究する価値はあると思うが如何か。

町長 当町は全道一位



小野寺 真議員

の保険料であり、介護給付費が多いのが要因だが反面、町内介護サービスが整っている証拠。今後も持続可能な制度運用を努める。介護予防は、先進地域情報を参考に、互身体制構築を検討する。

再 七飯町の介護事業視察は是非具体的に進めてほしい。また七飯町は、互助に公助を含めた取り組みを進めている。町の公助の考えは、制度の根幹的に見直さない限り改善はない。国に町民の声を代表し、改善を求める必要があるのでは。

高野あんしん課長 七飯視察に向け進める。互助と公助は双方で進める必要がある。

町長 制度の運用は、町単独では限界、どう持続可能な制度とするか、国で考えて頂きたいということも、町村会を通じ挙げていく。

問 障がい者が理解出来る説明や支援を 答 説明や支援の場面を作る所から始める

江差あすなろ福祉会の知的障がい者に不妊処置を求めている問題を受け、第1期障がい福祉プラン計画を作り、障がい者の意思尊重、支援体制づくり、会議の参画がうたわれたが、会議はどの程度開催されるのか。

国は、地域の様々な関係機関が連携し、障がい者の結婚、出産、子育てを支援するとうたうが、解決にならない。国の財政支援と該当法人の積極的な施策が必要と考えるが。

町長 意思決定支援会議は、あすなろ福祉会が選任する意思決定支援責任者から、町に対する開催の通知により参加するが、今のところ通知はない。

基本的な対応として国の通知により、事業者側の留意事項も示された。町としても、支援会議に参画、協議し、どのような支援が可能なか判断が必要となる。障がい者の希望を踏

問 公用車の貸し出し実績は 答 実績は無く専用規程必要

多くの自治体で、町内会や各種団体が実施する活動支援策として、公用車無償貸し付けを実施している。町でも、財務規則に貸付規定があり、江差町物品貸付要綱もある。貸し出しの実績があるのか。また、ない場合、他の自治体の事例も参考に公用車の貸し出しを進めるか同う。

町長 貸し出し実績はなく、公用車貸出し専用の要綱もない。公用車を貸し出す場合、規則・要綱だけでは不十分であり、別途、専用規程の整備が必要。公用車貸し出しは、他自治体の先行事例から、制度設計や課題等の情報収集に取り組み、そのうえで判断していく。

問 今年のヒグマの状況は 答 4月メス1頭駆除した

①今年のヒグマ状況は。②緑丘区域民地の樹木の実が落ちると、一層ヒグマが出没する。所有者に枝の伐採等促すなどの対策は。

町長 ①出沒4件。4月メス1頭駆除。②緑丘地区の樹木は、民地に多く自生。所有者へ相談を行い、適切に伐採・枝打ちに取り組む。

再 秋に備え、即刻事業の具体化する必要があると思うが如何か。

産業振興課参事 随時



緑丘に出没したヒグマ

自由民主党

室井 正行

議員

問 道路改良と合わせ特徴的な事業要請を 答 重要性を認識し国に要請していく

かもめ島入口交差点は、極めて重要な交差点であり、急カーブ対策の道路改良ではなく、歴史の重み、ランドマーク的な要素を考慮した事業を立案し、国へ要請すべきと提案している。

しかし、ある日突然、ラウンドアバウトの話

を聞き、あの場所になぜという疑問が残る。町民の批判もあり、その起因は情報公開の少なさと考える。

4点質問する。

1つ。ラウンドアバウト構想は、町側からの要請か、国側からの提案か。



室井 正行議員

2つ。地域住民との懇談会、説明会が行われたが、内容が議会に知らされていないが。

3つ。この事業を通じ、町が特に長年の懸案課題が解決され、地域振興に大きく貢献される事業などを、国に要請されているのか。

4つ。道の駅構想との関連性は、今段階では少ないと考えるが、要請するべき案件はしっかりと検討、整理され、議会と協議をすべきと思うが如何か。

町長 1つ目、町は拠点施設による交通量増が想定され、交差点がT字路となる様要請。国からはラウンドアバウト化の提案があった。

2つ目、国の発表を受け、昨年12月に全員協議会で説明、同日夜に、姥神津花地区の住民を対象に説明会を開催した。

3点目、交差点改良

が完了した後でも、運用面での課題や地域からの要望がある場合は、必要な対応を要請してまいりたい。

4つ目、拠点施設整備においては、動線の観点から配置の検討を行っており、連携し整備を行っていく。かもめ島にしえ街道を結ぶ接点としての重要性も認識しており、国に要望してまいりたい。

議会へ説明協議の場も作ってまいりたい。

再 先頭に立つ人が意識を持ち、しっかりと説明出来るような心構えが必要と思うが如何か。

副町長 今現在考える構想を、議員に対し情報提供する場面を持ちたいと考えている。

再 前向きに常に、町民のこと考え、どんなアドバイスしてほしいと思う。担当課長へ決意を伺う。

まちづくり推進課長

与えられた職責を果たし、まちづくり振興に努めてまいりたい。

問 開陽丸記念館改修の方向性は

答 改修計画策定の考え方を早期に示す

昨年強風に依り、マストのトップヤードが破損し、令和6年第2回臨時会で応急処置予算を可決。工事を終えたが、今後さらに大規模被害が発生する可能性は十分ある。

開陽丸記念館と連動し、隣接して道の駅計画があり、改修工事は調査から事業着手、完成まで、大きな事業費が必要となる。

全力を挙げ、早期に良い方向を、町民に示してほしいが如何か。

町長 目視調査の結果、

問 水堀、日明保育園の老朽化対策は 答 7月上旬を目途に議員へ考えを示す

水堀、日明保育園は、外観上老朽化が見られるが長寿命化改修計画には含まれていない。

今後、どの様な対応を図るか、考えを伺う。

町長 昨年の保護者アンケート回答では、「別な地区に統合」という意見が半数以上を占め

マストの脚や、ヤード接合付近の多くで塗膜の劣化や層状の錆が発生し、著しい腐食に伴い、穴が開く箇所がみられるとの調査報告があった。

この調査結果を踏まえ、可能な限り早い段階で、改修計画策定に向けた考え方を示したい。改修には多額の費用がかかり、文化庁や国土交通省の補助など財源調達なども含めて検討してまいりたい。

再 東京都日野市に、土方歳三記念館があり、

ており、現在地以外での整備も含めて、内部で検討をしている。施設統廃合の検討は待ったなしの状況であり、7月上旬頃を目途に考え方を議員の皆様を示してまいりたい。

再 地域から子供の姿や声が聞こえなくなる

そこには親類が住んでいる。開陽丸に非常に関わりが深い。日野市と連携した事業要請を図ることは出来ないか伺う。

町長 議員ご指摘の連携、特に土方氏を軸というところをしっかりと踏まえ、開陽丸リニューアルに向け、取り組んでまいりたい。



開陽丸記念館等外観

ことは寂しいことで、行政的に元氣、寂しくならないような工夫も、考えることが大事だと思いが如何か。

副町長 現時点での考え方を、7月上旬頃を目途に示す。議員の皆様、更に保護者、地域のご意見ご質問を踏まえ、議会と決定していきたい。連動した形で進めさせて頂く。



田畑 豊利議員

町長としての任期をしっかりと全うする所存である。

町長

町長に江差町のガパナンス能力はない。9月第3回江差町定例会までに、出処進退を決断すべきと考えるが如何か。

マチの発展三要素
バロメーターは、人・モノ・お金をいかに増やすか。照井町長の真骨頂である三大政策、北の江の島構想・日本遺産事業・日本で最も美しい村事業はいずれも絵に描いた餅であり、成果ゼロ、むしろマイナスが増加した。

問 出処進退決断を
答 任期を全うする

無会派
たばたとよこし
田畑豊利 議員

第2回江差町議会定例会 賛否一覧（反対のあった議案を掲載）

（○：賛成 ×：反対）

議 件 名	増永一彦	大門和幸	田畑豊利	出崎太郎	西海谷望	小梅洋子	室井正行	小野寺真	飯田隆一	打越東亜夫	塚本眞	採決結果
議案第6号 令和6年度江差町一般会計補正予算（第6号）について	○	○	×	早退	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	早退	○	○	○	×	○	○	○	可決
発議第1号 食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書の提出について	○	○	○	早退	×	○	○	○	×	○	○	可決
発議第2号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・署名・批准を求める意見書の提出について	○	×	○	早退	○	○	○	○	○	×	○	可決
発議第5号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出について	○	○	○	早退	○	×	○	○	○	○	○	可決
発議第7号 令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出について	○	×	○	早退	×	×	×	○	○	○	○	可決
発議第9号 訪問介護報酬引き下げの撤回を求める意見書の提出について	○	×	○	早退	×	○	○	○	×	○	○	可決

出欠状況をお知らせします！

令和6年4月1日から6月30日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会 議 名	会議日	総務産業常任委員会					社会文教常任委員会						議長
		委員長	副委員長	委 員	委 員	委 員	委員長	副委員長	委 員	委 員	委 員	委 員	
		小野寺 真	出崎 太郎	打越東亜夫	増永 一彦	塚本 眞	大門 和幸	西海谷 望	飯田 隆一	室井 正行	小梅 洋子	田畑 豊利	
第 3 回 臨 時 会	5月29日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 2 回 定 例 会	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 4 回 全 員 協 議 会	5月29日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 5 回 全 員 協 議 会	6月 4日	○	○	○	○	○	○	○	○	⑥	○	○	○
総務産業常任委員会	5月15日	○	○	①	○	○							
	6月 6日	○	○	○	○	○							
社会文教常任委員会	5月16日						○	○	○	○	○	⑥	
議会広報特別委員会	4月 8日		○		○		○	○				○	
	4月15日		○		○		○	○				○	
議 会 運 営 委 員 会	5月27日	○	⑥					○	○	○			○
	6月 7日	○	○					○	○	○			⑥

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（中の数字：1 傷病・2 出産・3 育児・4 看護・5 介護・6 私用）

社会文教常任委員会

『親子で楽しめる健康的な空間づくりに関する事務調査』

社会文教常任委員会（大門和幸委員長）は、令和5年第3回定例会で事務調査をおこし、担当課からの説明を求め、先進地行政視察（岩手県久慈市 道の駅いわて北三陸）を実施し、調査をした結果について次のとおり報告した。

■調査の目的

新しい道の駅が建設される江差町のシンボル・かもめ島は、「歴史」「伝説」「景観」など、様々な魅力が多いスポットであり、江差町の歴史はかもめ島から始まったと言っても過言ではない。かもめ島をはじめとした江差町の歴史的背景から、多くの文化遺産や歴史的建造物を有し、日本遺産に認定されるなど、町内・道内のみならず価値が広く認められている。

北の江の島拠点施設（道の駅）の整備基本計画では、『エエ町、江差で、エエ時間 親子のたまりば・かもめ島』をコンセプトに、道南エリア満足度ナンバーワンの「道の駅」を目標としている。計画の方針の一つに、『多様な交流でつながり、子育てしやすい施設であること』を基本に、“親子のたまりば”とした江差町の“のびのび子育て”応援の中心施設として、町民同士が交流し、子育てしやすい環境を提供すると謳われている。

当委員会とすると、道の駅が“親子のたまり場”としてどのような施設が望ましいのか、地域に根差し、親子連れにとって満足度ナンバーワンの道の駅にするため、「親子で楽しめる健康的な空間づくり」として調査を立ち上げ検討を重ねてきた。

ニシンの繁栄で「江差の5月は江戸にもない」と謳われたかもめ島が、もう一度賑わいのあるランドマークとなることを願い、調査結果について意見を付して報告する。

■調査の結果・意見

1. 子どもの施設配置について

- ・視察先施設では、子どもが遊ぶ姿をどこからでも見守れるという観点から、屋内施設中央にキッズスペースを設け、親以外でも「みんなで子どもを見る・育てる」という意識や意味を持たせていた。
- ・拠点施設においても屋内キッズスペースを配置する予定となっており、子育てしやすい施設、子どもの安全性を担保できるような施設配置を配慮する必要がある。併設予定の施設との動線が出来ること、来場する大人の目が行き届き、危険を未然に防ぐことが出来る施設配置となる様、検討いただきたい。

2. 子育て支援の充実について

- ・視察先施設のコンセプトのひとつが「子どもが楽しく遊べる秘密基地」であり、遊具にも工夫が見られ、子どもの冒険心を煽る施設であった。また、子ども用トイレや授乳室、オムツ交換スペース、オムツの自動販売機もあり、小さなお子様連れの来客者も安心して長い時間を過ごせる様、配慮された施設であることが伺えた。
- ・『北の江の島拠点施設整備基本計画』では子育て応援の中心施設として位置付けている。安心して長い時間過ごし、またここに訪れたいと思われる“親子たまりば”を目指し、親子に手厚い施設となる様検討いただきたい。

3. 施設の安全防災対策について

- ・施設の地震対策としては、耐震性の高い建物とすることはもちろん、専門家や有識者等の意見を取り入れ、地震による施設被害や物品倒壊等による人的被害を最小限に抑える施設設計とすることが重要と考える。
- ・津波対策としては、避難経路や避難場所の設置、さらには津波警報システムの導入など、津波への備えが必要である。建物自体の高さや構造も津波に対する耐性を考慮すると共に、地震・津波発生時の避難経路や避難場所を明確に示し、定期的に従業員や利用者への避難訓練を徹底実施することが必要である。

4. 施設の建設資材及び再生可能エネルギーの活用について

- ・拠点施設の設計はこれからとなるが、資材に木材を使う場合においては、道産材を使い、地産地消となるよう考慮いただきたい。
- ・当町も令和5年3月に『江差町地域再エネマスタープラン』を策定し、地域脱炭素社会実現へ指針を定めたところであり、風力や太陽光といった再生可能エネルギーの活用を積極的に推進していくことが望ましい。



「道の駅いわて北三陸」外観



屋内施設中央にあるすべり台



屋内施設見学の様子

臨時会

5月29日に第3回臨時会が行なわれ、一般会計の補正予算などについて審議し、原案どおり可決、閉会しました。

【第3回臨時会】

◎補正予算（令和5年度専決）

◇令和5年度珠洲市災害支援
寄附代理受入事業

1,266万5千円

◎補正予算（令和6年度専決）

◇令和6年度珠洲市災害支援
寄附代理受入事業

1,266万5千円

◇行方不明者搜索活動

3万円

◎補正予算（令和6年度）

◇コミュニティ助成事業

（豊川町「豊榮山」山車等改修補助）

250万円

◇豊かな前浜づくりプロジェクト

300万円

◇上町商店街人流創出消費促進事業

76万4千円

◇行政組合分担金（救急資機材購入）

360万4千円

◇行政組合分担金（消防車両1号車
照明器具更新）

59万6千円

◇職員人件費（教委分）

246万円

◇開陽丸遺跡パイロット事業

540万円

◎条例改正（専決）

◇江差町税条例一部改正

◇過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例一部改正

◎財産の取得

◇マイクローバス29人乗

四輪駆動・低床型（福祉バス）1台
契約の相手方 函館三菱

ふそう自動車販売株式会社

契約金額 1,199万円

◎行政報告《寄附採納》

◇北清えさし株式会社

代表取締役湯藤 学 様

○現金10万円

（町内清掃活動等環境保全のため）

○五勝手海岸に漂着した

ゴミ約18tを回収・処理

◇株式会社アイビック

代表取締役社長 牧野 良彦 様

○企業版ふるさと納税100万円

◇矢口港湾建設ヤグチダイバー株式

会社

代表取締役 矢口 政則 様

○企業版ふるさと納税300万円

◇いにしえ街道華の会

会長 菱田 昭彦 様

○花の苗約10万円相当

（コミュニティプラザえさしの花壇へ植栽）

壇へ植栽）

全員協議会を開催しました！

● 第4回全員協議会（5月29日）

- ・江差マース本格運行について
- ・伝統文化のまちづくり共創型空港アクセス改善プロジェクトについて
- ・江差町再生可能エネルギー事業の推進と地域との共生に関する条例の制定及びゼロカーボン推進業務について
- ・珠洲市への災害義援金の取扱いについて

● 第5回全員協議会（6月4日）

- ・コミュニティプラザえさし「エコー」の消防用設備の追加整備について



予告

議会YouTube配信について

町民の皆様にとってより身近な議会を目指し、江差町議会をYouTubeで配信するために、現在準備を進めております。

現状、9月定例会で配信を開始する予定ですが、YouTube配信に関する詳細については、追って町広報等でお知らせする予定です。

みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は9月です。

日程は、町広報紙やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

コミュニティプラザえさし（愛称：エコー）の施設見学会&落成式に出席しました！



オープン前施設見学会



5月16日、エコーのオープン前に、江差町より当議会へお招きがあり、施設概要の説明及び施設見学会に出席しました。

また、令和6年6月6日のエコー落成式式典では、萩原議長が祝辞を述べ、テープカットに参列しました。



落成式式典

議会の動き

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| 4月8日 | ◆議会広報特別委員会 |
| 4月15日 | ◆議会広報特別委員会 |
| 4月22日 | ◆檜山町村議長会定例議長会
(江差町：議長) |
| 4月24日 | ◆道南林活議連総会及び研修会(出席3名) |
| | |
| 5月15日 | ◆総務産業常任委員会 |
| 5月16日 | ◆コミュニティプラザえさし施設見学会 |
| | ◆社会文教常任委員会 |
| 5月27日 | ◆議会運営委員会 |
| 5月29日 | ◆第3回臨時会 |
| | ◆第4回全員協議会 |
| | ◆江差町議会議員会総会 |
| | |
| 6月3日 | ◆檜山地域振興協議会総会(議長) |
| 6月4日 | ◆第5回全員協議会 |
| | ◆檜山広域行政組合理議会運営委員会
(小野寺議員) |
| | ◆檜山広域行政組合理議会第1回臨時会
(小野寺議員、出崎議員) |
| 6月6日 | ◆総務産業常任委員会 |
| 6月7日 | ◆議会運営委員会 |
| 6月11日 | ◆北海道町村議会議長会第75回定期大会
(議長出席) |
| 6月18日 | ◆第2回定例会 |
| 6月26日
～27日 | ◆檜山地域振興協議会要望会
(議長・函館市及び札幌市) |

令和6年度道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連絡会総会及び研修会に出席しました

4月24日、木古内町中央公民館において、総会及び研修会が開催され、当議会より塚本議員・大門議員・出崎議員が出席しました。



総会では、塚本議員が議長の任を受け、議事進行を務めました。研修会ではコンテナ苗について、2人の講師より講演がありました。

今号の表紙

☆笑顔が繋ぐ時間

射的や缶ぽっくり、塗り絵、折り紙で作ったお魚釣りなど、沢山の「あそび」が準備され、シニアカレッジの皆さんの笑い声が響き渡る中、認定こども園江差幼稚園の園児や江差小学校、江差北小学校の子ども達が、元気よく遊んでいる様子は、とても微笑ましい光景でした。



(撮影者：大門 和幸 議会広報特別委員会副委員長)

議会からお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に
道産間伐材を使用しています